

暮らしと自然のふれあいマップ作り

未来に引き継ぎたい“いのちと暮らしの豊かな流山”を地図に描きませんか？

歩いて見えてくる流山の「歴史」を、触れて感じる流山の「いま」を、
未来に伝えたい流山の「好き」の気持ちを、たくさん地図にのせてください。

暮らしの豊かさと“生物多様性”？

“生物の多様性”、生きものが沢山いることが、なぜ、最近重要視されているのでしょうか。

「今朝、水をのんだ」

「デザートに梨を食べた」

「子どもと虫とりをして遊んだ」

このようなごく日常的な営みも

“生物多様性”と関わりを持っています。

この沢山の生きものからなる“自然”

と私たちの“暮らし”の

ふれあいについて、

すこしご紹介します。



人が飲める淡水も、豊かな森とそこにいる微生物が育んだもの。梨などの果物も花粉を昆虫に運ばれて

実をつけることができます。

子どもたちが虫とりを楽しめるのも

沢山の昆虫がいてこそですよ。

先人たちは、“自然”との

多くのふれあいのなかで、

知恵のあふれる「衣」「食」「住」を築きあげ、

さらに豊かな文化を作り上げてきました。

このように、私たちの“暮らし”と“自然”とのふれあいは

知らず知らずのうちにも、身のまわりに溢れているのです。

現在、その多様で豊かな、私たちの“暮らし”を支える“生物多様性”が、急激な速さで失われています。

一度“多様性”が失われると、日常のなかにあった自然の恩恵が失われ、暮らしの基盤が揺らぐことにもつながります。

“生物多様性”を守るということとは、自然や生きものを守るだけでなく、

私たちの豊かな暮らしを守ることも一致することなのです。

未来へ引き継ぎたい流山の「恵み」をマップにしよう！

そうはいつでも、どれが“生物多様性”なのかもよくわかりませんし、暮らしのなかの自然からの恩恵といわれても日頃か意識する機会は少ないかもしれません。

そこで、まずは身のまわりの“自然とのふれあい”を「知ること」からはじめるために、「暮らしと自然のふれあいマップ作り」を実施します。流山に暮らすなかで発見した自然との「ふれあいデータ」を地図に落とし、流山を見て触れて、日常から感じた「日々の暮らしと自然のふれあい」の記事を書きませんか？

たくさんの方々の参加をお待ちしております！

マップ作りへの参加方法

2通りの参加方法があります！

① 記録用紙を使って
「ふれあいデータ」収集・郵送

② ウェブサイトを使って
「日々の暮らしと自然のふれあい」記事を投稿

→ …そして、
12月、データを集約して
マップの全体像を作ります！

…詳細は裏面をご覧ください

マップ作りへの参加の仕方

流山の「暮らしと自然のふれあいマップ」作りには以下の2通りの方法で参加できます。

① 記録用紙を使って「ふれあいデータ」を収集・郵送する

- 各協力団体に流山の地図が載った記録用紙を配布しています。流山を4ブロックに分け、全4種類の用紙を用意しています。
- 市内で「自然の恵み」を見つけた場所を地図に書き込みます。自然の恵みには以下のタイプ
 - ・ 生きものの恵み
 - ・ 食の恵み
 - ・ 心と体への恵み
 - ・ 子どもへの恵み
 があるので、タイプに応じた番号を地図に書き込んでください。
- 記入日・記入者・所属・連絡先を用紙の右下に書き込み、下記提出先までご送付ください。



恵みのタイプ	番号	内容
生きものの恵み	①	希少な生きものがある場所
	②	生きものの数が多い場所
食の恵み	③	山菜やキノコが取れる場所
	④	魚介類が取れる場所
	⑤	湧き水や井戸水がある場所
	⑥	地域の野菜の直売所や取扱レストランの場
心と体への恵み	⑦	綺麗な鳥の音が聞こえる場所
	⑧	スズメンなど秋の虫の音が聞こえる場所
	⑨	野生の花が綺麗な場所
子どもへの恵み	⑩	自然を題材にした文化活動の場所(詩・絵画・音楽など)
	⑪	自然観察会など自然の観察ができる場所
	⑫	トンボ、チョウ、カマキリなど生きものと触れ合える場所
	⑬	自然観察会や観察会を開催している場所
	⑭	自然の中で遊べる場所
	⑮	夏でも涼しく遊べる場所
	⑯	その他
	⑰	
	⑱	
	⑲	

② ウェブサイトを使って「日々の暮らしと自然のふれあい」記事を投稿する

- ウェブサイトにアクセスします
「暮らしと自然のふれあいマップ@しもうさ <http://chiba.ikimonomap.info/>」
- 日々の暮らしのなかで見つけた下のような「自然とのふれあい」を記事として投稿してください！

きれい



散歩をしていたら、在来の花が見ごろを迎えていました。

おいしそう



産直で、地場産の野菜を買いました。とてもおいしそう！

おどろき！



野菜の花にハチが来て花粉を運んでいたよ。



- 投稿が完了すると右図のように、記事と位置情報がウェブに表示されます。これで投稿は完了です。事務局で投稿内容を確認後、一般公開されます。
 ※ 記事の投稿にはユーザー登録が必要です。下記連絡先までお問い合わせください。
 ※ 記事投稿の方法の詳細につきましては、上記ウェブサイトに説明書を掲載しています。

マップのとりまとめ方

- データや記事は全て上記のウェブサイトに登録しマップ上に表示されます。
- 12月に流山市内で開催するワークショップにご参加ください。集まったデータから参加者と流山の「暮らしと自然のふれあい重要エリア」を見つけ出します。
- 成果を取りまとめ、重要エリアごとの「暮らしと自然のふれあい発見ガイドマップ(仮題)」を次年度に作成して皆さんにお配りします。

メールでも投稿できます！

下のQRコードを読み取って、メールのタイトルや本文で記事の作成ができます。



お問い合わせ先・データ提出先:「下総生物多様性アクションプラン」事務局
 公益財団法人 日本自然保護協会(担当:保全研究部 高川 晋一 / 小此木 弘明)
 E-mail: shimousa@nacsj.or.jp
 TEL:03-3553-4104 FAX:03-3553-0139
 〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F